

ご挨拶

大学の近況に関するご報告

2022年9月
神奈川工科大学
学長 小宮 一三

ご挨拶

日頃より本学に種々ご支援いただき、御礼申し上げます。

本学では、毎年4月に「新入生父母説明会」、5月に「地区別父母説明会」、9月に「在学生父母説明会」を開催し、皆様と大学との情報交流を通し、理解を深め合う機会としてご利用いただいております。

しかしながら、本年につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない状況に鑑み、昨年同様、オンデマンド(動画配信)にて開催させていただくことになりました。ご容赦の程お願い申し上げます。

本日は各部門より報告とご連絡がございますが、私からは大学の近況についてご報告させていただきます。

現在の学部・大学院構成

本学は、今年で創立59年、現在5学部、13学科、大学院6専攻、学生数約5000名の工科系総合大学に発展しました。健康医療学部が今年で4年目を迎えます

学部	学科構成	入学定員
工学部	機械工学科	120
	電気電子情報工学科	78
	応用化学科	60
創造工学部	自動車システム開発工学科	55
	ロボット・メカトロニクス学科	50
	ホームエレクトロニクス開発学科	40
情報学部	情報工学科	170
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	110
	情報メディア学科	180
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	125
健康医療学部	看護学科	80
	管理栄養学科	40
	臨床工学科	40
合計		1,148

大学院 工学研究科 前期課程	入学定員
機械工学専攻	14
電気電子工学専攻	16
応用化学・バイオサイエンス専攻	16
機械システム工学専攻	14
情報工学専攻	18
ロボット・メカトロニクス工学専攻	6
合計	84

大学院 工学研究科 後期課程	入学定員
機械工学専攻	2
電気電子工学専攻	2
応用化学・バイオサイエンス専攻	2
機械システム工学専攻	2
情報工学専攻	2
ロボット・メカトロニクス工学専攻	-
合計	10

本学の教育目標

考え、行動する人材の育成－社会で活躍する人づくり

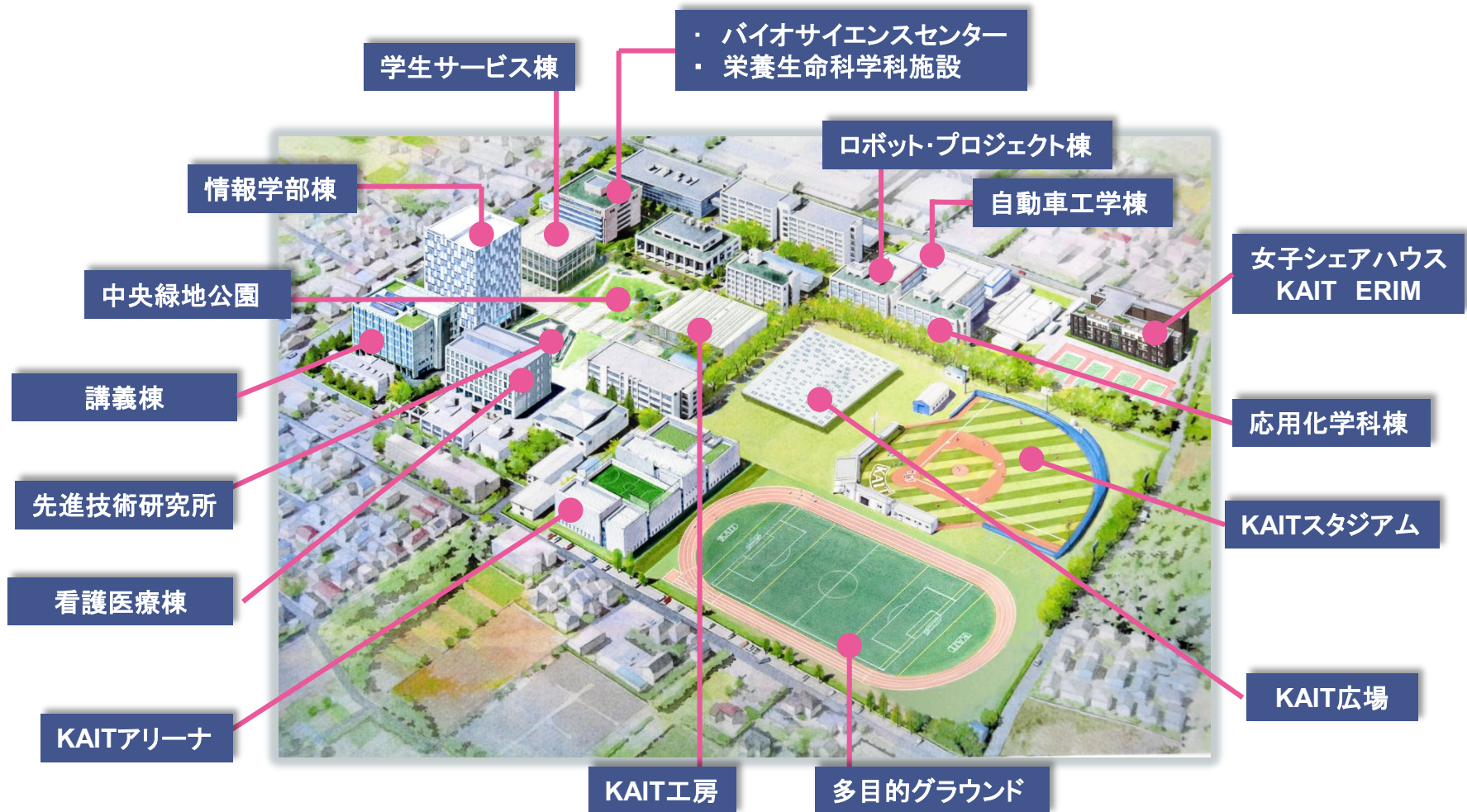
大学の方針－学生本位主義

本学教職員の基本姿勢として、小宮学長が内外に宣言した言葉です。
学生本位主義とは、学生ひとりひとりの可能性を見出し、導き、伸ばす、
きめ細かい教育と充実したキャンパスライフにつながる学生支援を何よりも
重視し、学生に感謝される大学を目指すこと。具体的には、

- (1) 教育環境の充実
- (2) 学生の力を伸ばす教育
- (3) きめ細かい学生支援 などに力を入れています。

(1) 充実した教育環境

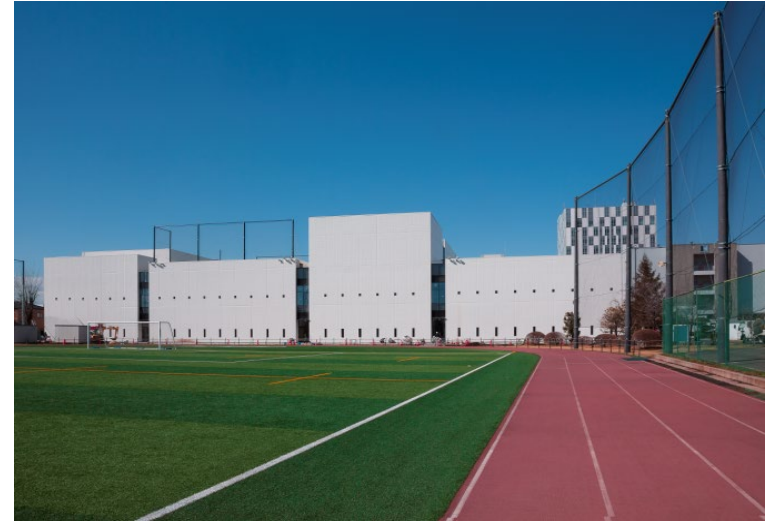
2006年より開始されたキャンパス再開発により、トップレベルの教育研究環境が整いました。また、創立50周年記念事業としてのK3講義棟、体育館 KAITアリーナはじめ、看護医療棟、女子シェアハウスの建設に続き、2020年12月にはKAIT広場が完成しました。



教育研究の新設備



K3講義棟



体育館 KAITアリーナ



看護医療棟



女子シェアハウス KAIT ERIM



KAIT広場

世界的建築デザイナー石上純也氏
の設計による異次元空間

学生達が集い、自由に利用法を
創造します



(2) 学生の力を伸ばす教育

本学は、「考え、行動する人材の育成—社会で活躍できる人づくり」を目標に、学生が主体的に学び、力を伸ばす教育を実施しています。教育課程では、技術者、職業人として活躍するための基礎学力、創造力、コミュニケーション力などの育成に力を入れています。具体的な教育課程として、

➤ 全学共通基盤教育の実施

学びの基本、社会人として必要な教養と基礎力を在学4年間を通して身に付けます。

➤ ユニットプログラムの導入

実験実習教育と基礎科目を一体化し、学生が主体的に考える力をつける新しいプログラムで、技術者としての応用力を養成します。

➤ スーパーサイエンス特別専攻の導入

少人数で、専門分野に特化した特別な教育プログラムを行っています。

➤ キャリア教育

4年間を通し、社会人基礎力、就職に必要な力を習得する。

インターンシップでは、企業において、短期間の実習を行う
課程で実地体験を通し、社会的視野を広げます。

➤ 国際交流プログラム

グローバルな力を身に付ける語学教育、海外留学、海外研修
プログラムを推進しています。

➤ 図書館

蔵書数はもちろん、図書館を自ら学ぶ場（アクティブラーニング）
として整備しています。

➤ KAIT工房

工学の学びの基礎となる、ものづくりが気軽に体験できる場であり、
地域へも開放しています。

(3)きめ細かい学生支援

➤ 資格取得

資格は社会に出てから役立ちます。資格取得を目指す学生に本学では資格取得プログラムを用意し、支援を行っています。

➤ 学生相談

コロナ禍の中、学生生活の上での悩み事などは教職員に気軽に相談し、必要があれば専門のスタッフも常駐しています。学生諸君が安心して学生生活を送れるように体制を整えています。

➤ 基礎教育支援センター

授業において理解できなかったこと、高校で習わなかったことを補習できるように、高校教師OBが常駐しています。2019年度は3000人の学生が利用しました。

全学避難訓練

大規模地震発生および火災の発生を想定し、全学生及び教職員の参加する避難訓練を毎年実施しておりました。コロナ禍で一時中断せざるを得ませんが、収束時には再開する予定です。それまでは学長からメッセージを配信し、災害から命を守る行動の大切さを伝えています。



グラウンドに避難する様子(2019年9月)

緊急連絡網(KAIT安否情報サイト)

万が一の備えとして現状の情報配信及び学園生活支援システム(KAIT Walker)に、安否確認システムと災害対策システムを増強致しました。

2011年10月スタート



本学の新型コロナウイルス感染症対策について

我が国では、未だ新型コロナウイルス感染症の油断ができない状況が続いております。

本学では、2020年2月に学長のもとに新型コロナウイルス感染症対策室を発足させ、内外の情勢、政府指針等にもとづき迅速に大学としての万全な対策を行い、またホームページ等を通じ、学生、教職員、保護者の皆様と情報共有を行ってきました。

2022年度入学式は、やむを得ず、大学院専攻、学科別オリエンテーションの中で実施し、学長よりのお祝いの言葉はビデオでお伝えいたしました。

4月からの授業は、感染防止を十分徹底した上で、対面授業とオンライン授業を併用して実施しておりますが、段階的に対面授業の比率を増加させております。

今後も大学としては、「感染しない」、「感染させない」ことを徹底してまいります。何よりも学生自身の日頃の注意が重要でございます。ご家庭におかれましても、基本的対策である、マスク着用、手洗い・消毒、3密排除へのご指導よろしくお願いいたします。

ご不明な点は、学生課まで遠慮なくお問い合わせいただければ幸いです。

以上、簡単に本学の現状について報告致しました。

本年の父母説明会も、新型コロナウイルス感染症対策としてオンデマンド（動画配信）とさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見通せませんが、学生の皆様が無事勉学に励み、充実した学生生活を送れるよう、教職員一同全力で取り組んでまいります。

今後とも、一層のご支援とご協力のほど、お願い申し上げます。